

平成 30 年度 学校評価アンケートの集計結果

評 価 項 目		評 定
1 確 か な 学 力	① 学校は、子どもたちが自分の考えを表現したり、学び合ったりする学習の充実を図っている。	A : 41%↑ B : 47%→ C : 6%↓
	② 学校は、日々の授業や朝モジュール等の取組により、学習の基礎・基本の定着を図っている。	D : 3%→ E : 3%↓
	子どもたちが自分の気付きや考えを表現したり、学び合ったりする姿が見られたというご意見を多くいただきました。基礎的・基本的な知識・技能の定着については、要努力とのご意見も見受けられました。子どもたちの学習状況をていねいに把握し、個に応じた指導の充実を図っていく必要があると考えています。	
2 豊 か な 心	③ 学校は、子どもたちが互いの人権を尊重し合えるような、豊かな心の育成に努めている。	A : 40%→ B : 40%↓ C : 11%↑
	④ 学校は、様々な人との交流の場を作り、コミュニケーション能力や社会性を育てている。	D : 4%↑ E : 5%→
	ペア学年の活動の他、地域の様々な方々との交流、幼稚園、保育園との交流等を評価するご意見をいただきました。また、相手の気持ちを考えて発言や行動できる、思いやりの心を育てていきたいというご意見を多くいただきました。	
3 健 や か な 体	⑤ 学校は、子どもたちが健康に関心を持ち、健康の大切さを理解したり、健康を守ろうとしたりする指導に努めている。	A : 38%↓ B : 45%↑ C : 9%↑
	⑥ 学校は、体育だけでなく、休み時間や集会等の活動を通して、子どもたちが体を動かすことの楽しさを知ったり、生活の中に運動を取り入れたりするような実践をしている。	D : 3%↑ E : 6%↑
	健康への関心を高めたり理解を深めたりする取組やそれらを実践する取組に高い評価をいただきました。今後も健やかな体づくりに向けて、子どもたちが主体的に取り組めるような活動を行っていきます。	
4 児 童 指 導	⑦ 学校は、あいさつ、時間を守る、言葉遣いなど、基本的な生活習慣を身に付ける取組を行っている。	A : 31%↓ B : 41%↓ C : 17%↑
	⑧ 学校は、道徳教育を推進し、規範意識や公共心等を育てる取組を充実させている。	D : 3%→ E : 8%→
	よくあいさつができていているというご意見がある一方、言葉遣いが悪いというご意見もありました。また、道徳教育をもっと充実させてほしいというご意見や指導方針を先生同士あるいは保護者とも共有しながら指導を進めてほしいといったご意見をいただきました。「豊かな心」の育成の観点からも、これらのご意見を大切に指導にあたっていきます。	
5 保 護 者 ・ 地 域 連 携	⑨ 学校は、教育活動の計画や実践を工夫し、地域の活動に積極的に参加できるように取り組んでいる。	A : 38%↓ B : 44%→ C : 11%↑
	⑩ 学校は、年間予定の中に授業参観や学校行事等、保護者が学校の様子を知る機会をバランスよく位置付けている。	D : 2%→ E : 5%↑
	授業参観等、保護者の方にご来校いただく機会は年間にバランスよく位置づけられている一方、土曜参観など、普段の授業が見られる機会を増やしてほしいというご意見もいただきました。内容については、子どもたちの日常の様子や頑張ったり成長したりした姿をバランスよく見ていただけるよう工夫していきます。	

6 安全 管理	⑪ 学校は、事件・事故や災害発生時に備えるとともに、適切な対応ができています。	A : 31% ↓ B : 49% ↑ C : 10% →
	⑫ 学校は、子どもたちにとって過ごしやすい安全な施設、設備の維持、管理に努めている。	D : 3% → E : 7% ↓
安全な施設、設備の維持、管理等、日頃の危機管理体制や大雪の際の対応等、おおむねご理解をいただきました。不審者情報等についてメール配信がほしいというご意見が複数ありましたが、不審者情報のメール配信は、警察や区内小中学校等と連携して発信しており、学校単独では行えない旨、ご理解ください。		
7 特別 支援 教育	⑬ 学校は、一人ひとりに応じた支援や迅速で的確な児童指導を行っている。	A : 22% ↓ B : 42% ↑ C : 14% ↑ D : 7% ↑ E : 14% ↓
	特別支援教室(取り出し授業)や特別支援教育支援員による支援などを行っています。今後も教職員間や保護者の皆様との連携を図りながら、個に応じたいい対応を行っていきます。	
8 人材 育成 ・ 組織 運営	⑭ 学校は、職員が連携して円滑な学校運営やきめ細かな児童指導を行っている。	A : 20% ↓ B : 50% ↑ C : 16% ↑ D : 6% ↑ E : 9% ↓
	情報機器等の積極的な活用などによる授業改善に対する評価をいただく一方で、クラス間の学習進度に対する不安や更なる授業改善を期待する声もありました。今後、教職員間の一層の連携や研修・研究の充実を図り、指導力の向上を目指していきます。	
9 いじ め への 対応	⑮ 学校は、様々な人との関わりや豊かな体験を大切に、いじめ防止に向けた学校風土づくりに努めている。	A : 16% ↓ B : 39% ↑ C : 17% ↑
	⑯ 学校は、子どもたちの様子をみとったり、定期的にアンケートを実施したりし、いじめの早期発見や迅速な対応に努めている。	D : 8% ↑ E : 20% →
	いじめ防止に関する取組が保護者の方々に十分お伝えできていない状況がうかがえます。いじめ防止に向けた具体的な取組を共有するなど、保護者と学校との連携を大切に進めていきたいと考えています。	

※ 評定右の矢印は、対前年度比3%以上(↑)、0±2%(→)、3%以下(↓)として記載

【 その他のご意見・育てたい子どもの姿 等 】

- ・一人一人がのびのびと豊かな心で健やかに学び、過ごせるようにしてほしい
- ・自主的に考えて行動できるように、のびのびとした環境で学校生活をおくれること。
- ・個性を尊重し、伸ばして、子供達にもそれらが大切だということを教えてほしいです。
- ・自分が言われたり、されたりしてイヤなことは言わない、しないことを校外でも実践できているといいと思います。
- ・一人の考え方で決めつけず、先生、児童、保護者それぞれが関わり、コミュニケーションを取ることができ、お互いの存在を認め合えれば、子どもたち一人、一人の自己肯定感を育むことが出来ると思います。

- ・生きる力を持った子供を育てていきたいと考えます。そのためには、うまくいっている時よりも、うまくいかない時の方が大事なのではないかと思えます。問題にぶつかったときに、どう取り組むのか、解決するにはどんな方法があるのか、先生方や保護者も子供達と一緒に考え、子供達を導いて欲しいです。
- ・挨拶、時間を守る事の大切さ、人を思いやる大切さが身につくような指導をお願いしたいです。
- ・友人に優しく接し、自分の良さを伸ばしていってくれたらと思っています。
- ・個性を生かし、楽しく生き生きと学校生活を送って欲しいと思えます。
- ・一人一人が豊かな心で健やかに学び、過ごせるようにしてほしい
- ・相手の気持ちを考えて、発言や行動が出来るよう育てていきたいです。